

関東森林管理局 保護林一覧

◎:要素大、○:要素有り、△:要素見込み

計画区	樹立年度	管轄署	保護林名称	保護林区分	保護林番号	面積 (ha)	5年の要素							備考	シカ	クマ	病虫害
							ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ				
鬼怒川	H30	日光	オクキヌ 奥鬼怒生生物群集保護林	群集	3	2,585.35					○	◎	下層植生に鳥獣被害が顕著に見られることから、群落構造・生育環境の変化、構成樹種等の生育状況を注視が必要。	○			
			コトク 光徳ハルニレ希少個体群保護林	希少	27	13.71					○		H30区域拡充 (3.69ha → 13.71ha) シカの食害が顕著なエリアのため、保護対象木、下層植生への影響に注	○			
			サイコ 西ノ湖ヒメコマツ・シロヤシオ希少個体群保護林	希少	29	56.24					○	◎	保護対象木の競合状況や後継樹の生育状況の有無の確認が必要。 対策：樹皮剥ぎ防止ネット設置済み。(ヒメコマツ)	○			
			ユタキ 湯滝ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	希少	35	13.18					○		シカの食害が顕著なエリアのため、下層植生の変化に注視が必要。 対策：植生保護柵を一部設置済み。(H13.12)	○			
天竜・静岡	H30・R1	天竜・静岡	ミナ 南アルプス南部光岳森林生態系保護地域	生態	7	303.49					○	◎	静岡からのルートは調査不可のため、当明天竜計画区のみで調査実施。 コマツガを主体とする天然林は健全に生育・更新しているが、一部区域	○			
天竜	H30	天竜	キョウマルヤマ 京丸山キョウマルシャクナゲ希少個体群保護林	希少	71	37.49					△	○	シロヤシオやキョウマルシャクナゲの成木・稚樹の生育状況の変化、林床における後継樹の生育状況など植物群落の動態に注視が必要。	○			
静岡・天竜	R1・H30	静岡・天竜	ミナ 南アルプス南部光岳森林生態系保護地域	生態	7	2,944.50						○	白倉・中ノ尾根山でシカ食害顕著 保存地区におけるシカ対策が課題 静岡からのルートは調査不可のため、当明天竜計画区内のみ調査。	○			
阿武隈川	H31	福島	日山ミズナラ希少個体群保護林	希少	1	21.13								ミズナラの更新が見られない 必要に応じ更新補助作業を行う			
			深沢ヒノキアスナロ希少個体群保護林	希少	2	175.28						○	◎	アスナロに天狗巣病が見られる			○
西毛	H31	群馬	上野橋原シオジ等生物群集保護林	生物群	6	290.19						△	○	下層植生にシカ食害あり(猟場が近くにあり逃げ場となっている。下層植生がほとんど無い。) シオジ林は天然記念物となっている。	○		
			天丸山ヒノキ・ハコネコマツツジ希少個体群保護林	希少	39	119.35						△	○	下層植生にシカ食害あり	○		
千葉南部	H31	千葉	元清澄山ツガ・ヒメコマツ遺伝資源希少個体群保護林	希少	82	170.29							△	H25モニタリングでは被害は確認されていないもののシカの生息あり。 H30結果で調査間隔を10年とするか検討。ヒメコマツに対し樹幹注入を行っている。	○		○
			南房総モミ希少個体群保護林	希少	83	5.56	○					△	◎	対象木には影響はまだ見られないが、下層植生にシカ食害あり H30区域拡充 (4.24ha → 5.56ha)	○		
下越	H31	下越	赤谷山スギ遺伝資源希少個体群保護林	希少	53	10.77						○	ツキノワグマの樹皮剥ぎ被害有り H30区域拡充 (3.00ha → 10.77ha)		○		
富士川中流	H31	山梨	上佐野スギ・ブナ・イヌブナ希少個体群保護林	希少	84	19.82						△	○	下層植生にシカ食害あり	○		
静岡	H31	静岡	安倍峠オオイタヤマゲツ希少個体群保護林	希少	64	9.96						△	○	下層植生にシカ食害あり	○		